

鳥海山の火山活動解説資料（平成31年2月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～6）

上郷に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

27日に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、新山、鳥海湖及び猿穴に噴気や地熱域は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図7）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図8、図10）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

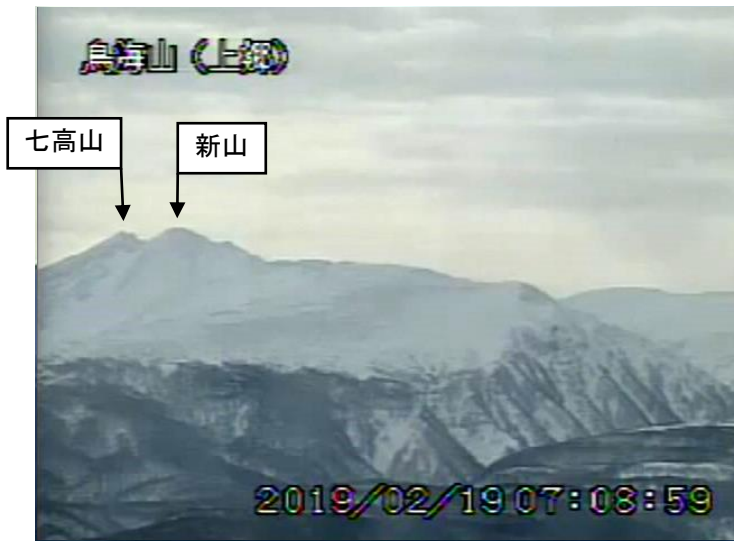


図1 鳥海山 山頂周辺の状況（2月19日）

- ・上郷（山頂の北西約10km）に設置している監視カメラの映像です。

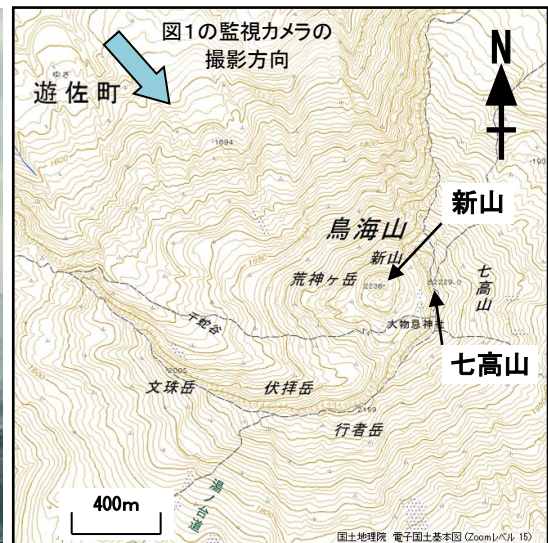


図2 鳥海山 新山と七高山位置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成31年3月分）は平成31年4月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び東北大学のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

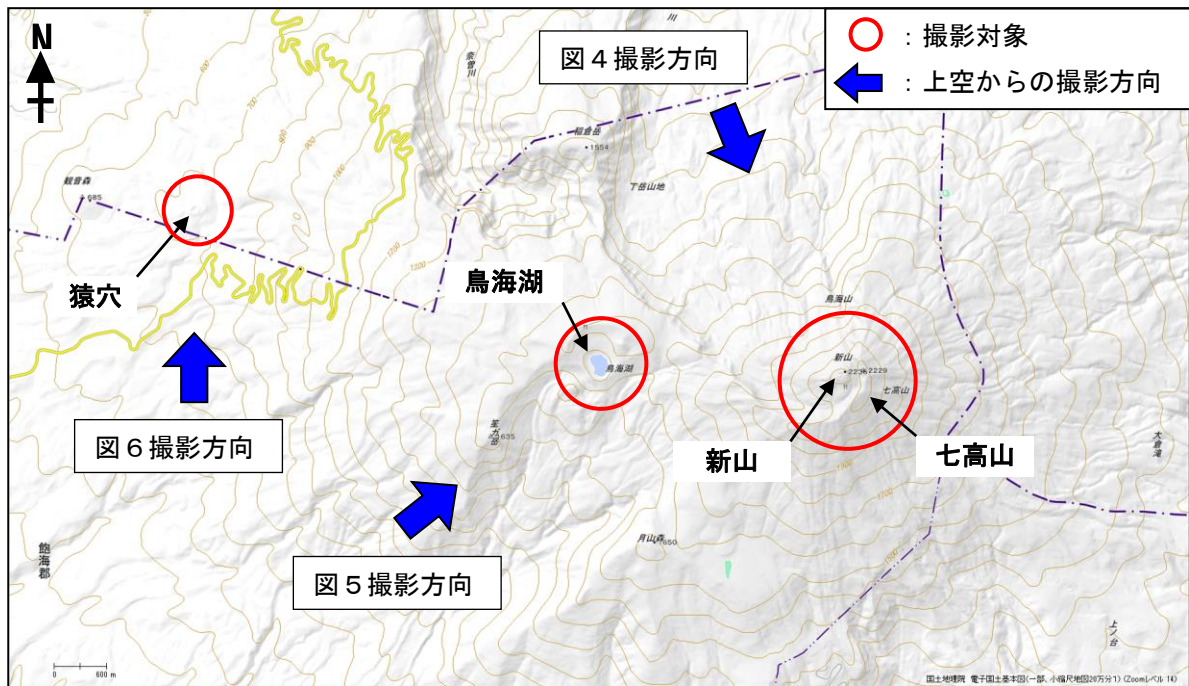


図3 鳥海山 上空からの写真と地表面温度分布の撮影対象と撮影方向

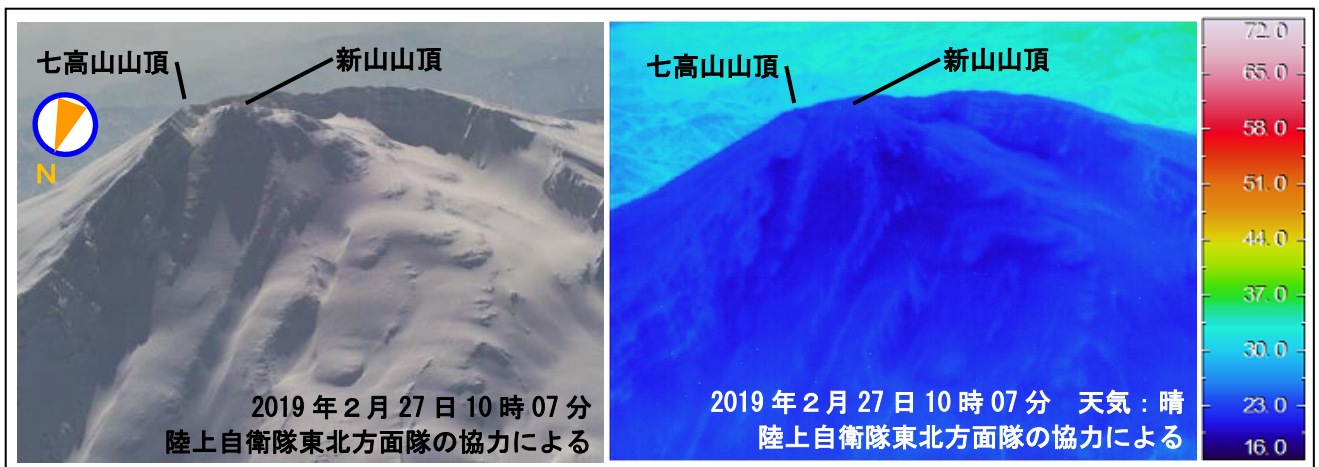


図4 鳥海山 上空からの新山の状況と地表面温度分布

・噴気や地熱域は認められませんでした。

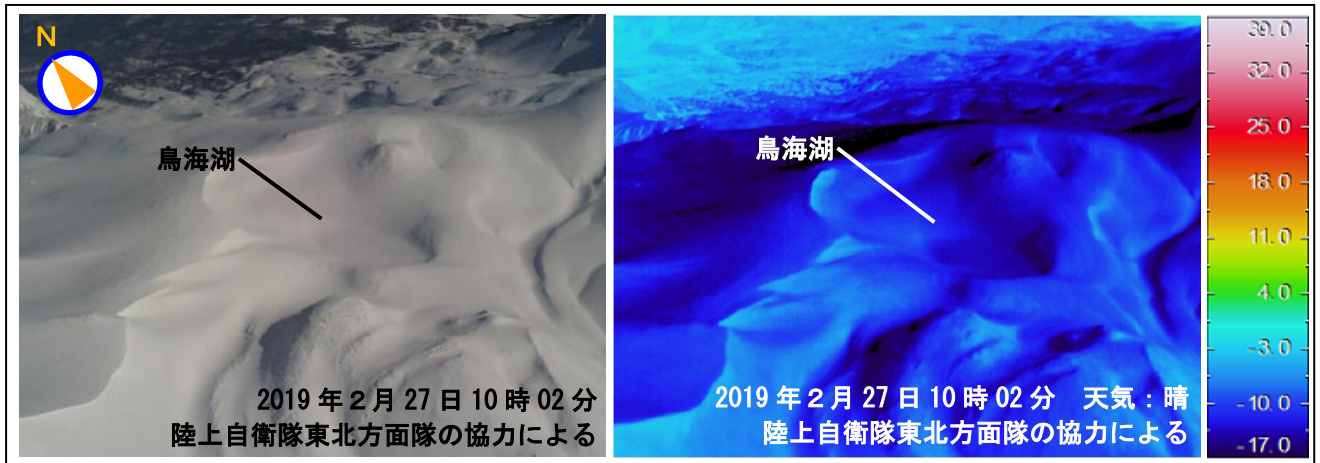


図5 鳥海山 上空からの鳥海湖の状況と地表面温度分布

- ・噴気や地熱域は認められませんでした。
- ※温度の高い部分は日射による影響と推定されます。

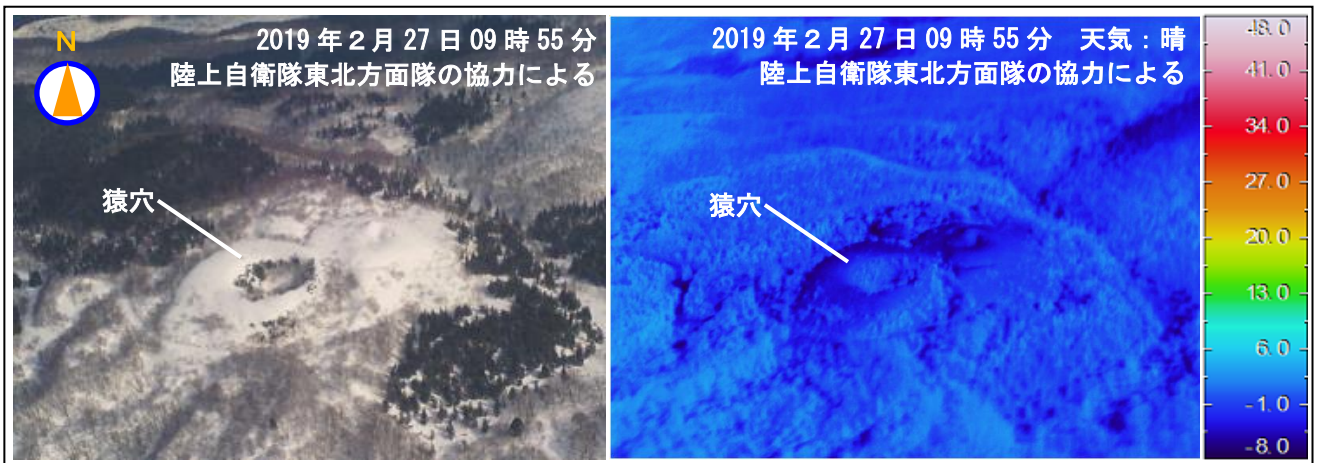


図6 鳥海山 上空からの猿穴の状況と地表面温度分布

- ・噴気や地熱域は認められませんでした。

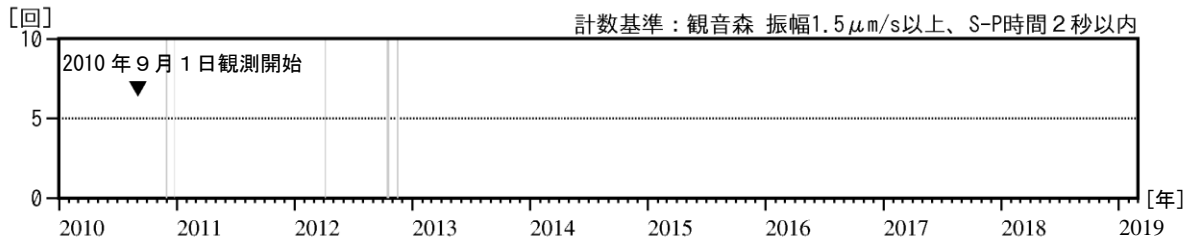


図7 鳥海山 火山性地震の日別回数（2010年9月～2019年2月）

- ・ 灰色部分は欠測を表しています。
- ・ 観測開始以降、火山性地震は観測されていません。

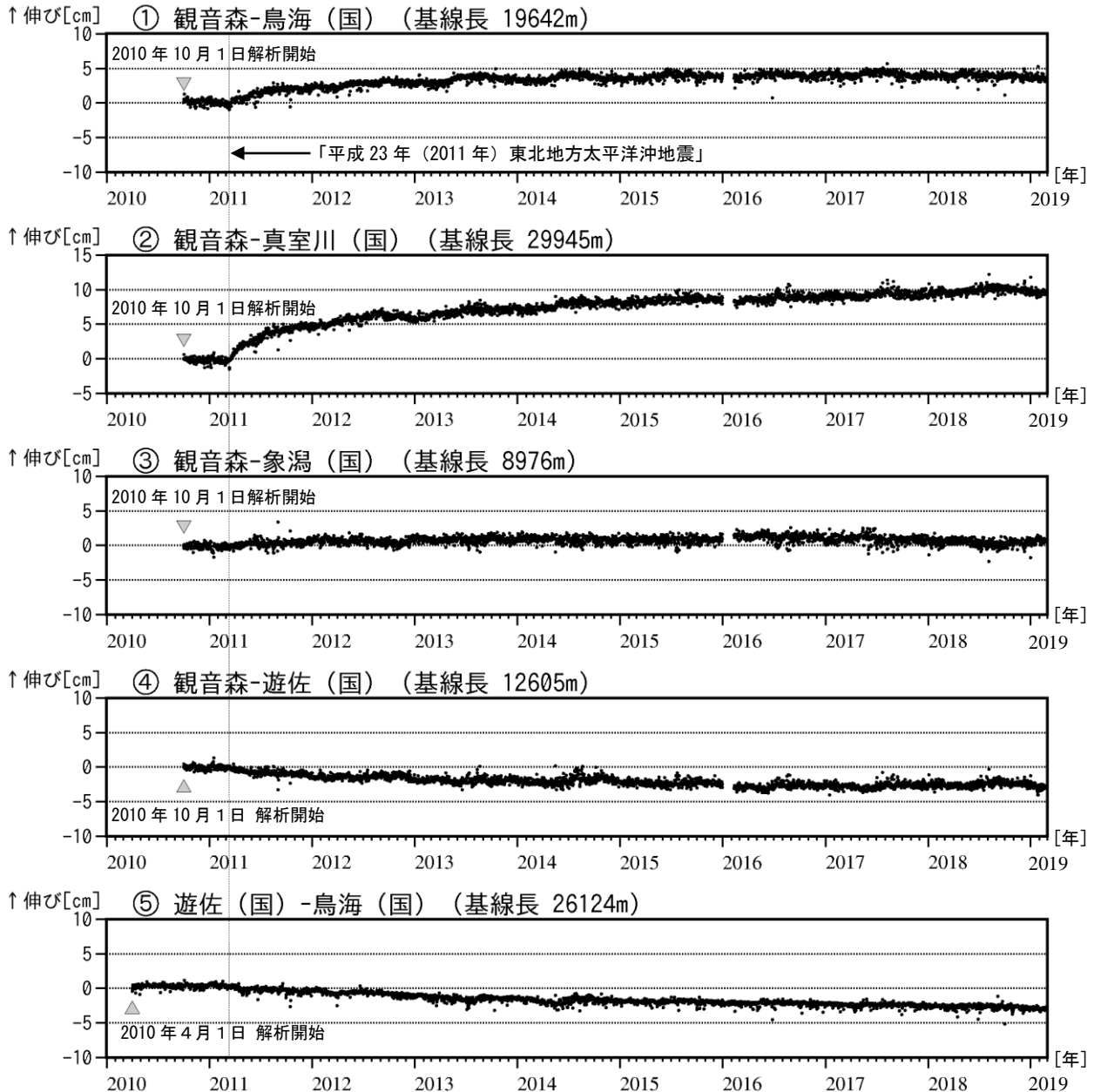


図8 鳥海山 GNSS 基線長変化図（2010年4月～2019年2月）

- ・ 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑤は図 10 の GNSS 基線①～⑤に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。

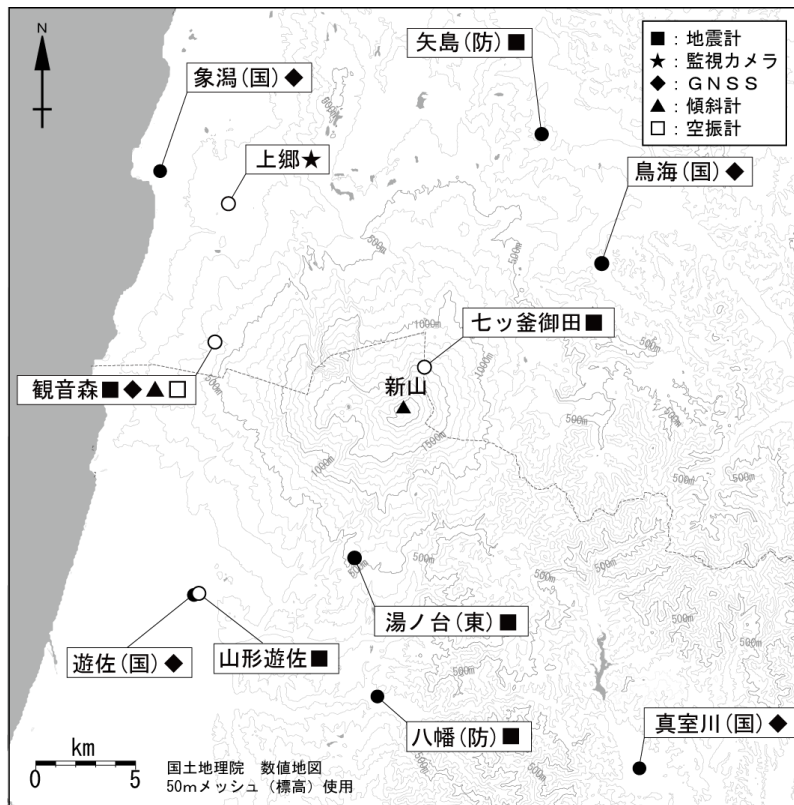


図9 鳥海山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学

(防) : 防災科学技術研究所

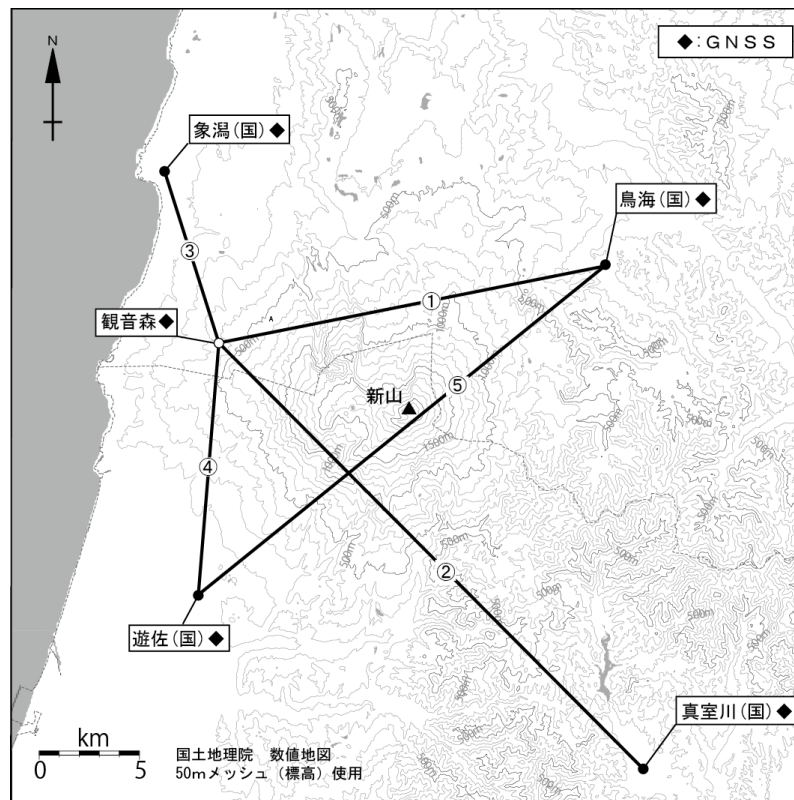


図10 鳥海山 GNSS 観測基線図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院